

平成 25 年度事業計画案

I 基本方針

平成 25 年度は、公益財団法人として名古屋市の産業振興施策を推進するため、当公社と名古屋市が両輪として密接に連携しながら、中小企業のニーズを的確に捉えて総合的な支援を引き続き実施していく。また、平成 23 年 3 月に策定した経営戦略計画の計画期間の最終年度であることから、これまでの実績と成果を検証し、これらを踏まえて着実な団体運営及び事業推進を行うとともに、平成 26 年度以降の公社の新たな経営方針を定める。

個別の事業実施にあたっては、厳しい経営環境に直面している小規模企業者に対する経営改善への支援を昨年度から引き続き実施するとともに、中小企業の創業、新事業展開及びBCP（Business Continuity Plan、事業継続計画）の策定、ものづくり人材の育成、技術・技能の継承を支援するほか、工業技術に関する指導・相談等の実施による情報提供を継続して行っていく。

また、先端技術の事業化や実用化に対応するため、昨年度から引き続き、ものづくり基盤技術の高度化への研究開発を支援する共同研究受託事業や中小企業における技術革新に重点を置いた研究開発を促進していくほか、プラズマ技術の産業応用については、企業へ普及啓発することから技術移転することに重点を移して事業を実施していく。

さらに、中小企業等の販路拡大や市場開拓を支援するため、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業見本市のほか、防災・減災・BCPをテーマにした産業見本市をこの地域では初めて開催する。

このほか、産業振興施設については、名古屋市中小企業振興会館をはじめ施設の一層の利用促進を図り、利用者ニーズにきめ細かく対応しながら、安全・安心でより効率的な管理運営を行うとともに、都市型工業団地などの創業支援施設の入居企業に対して効果的な支援に努める。

なお、名古屋市中小企業振興会館及び名古屋市国際展示場の管理運営については、名古屋市から指定管理者として指定されており、平成 25 年度は指定管理期間の最終年度であることから、平成 26 年度以降の両館の指定管理者再選定に向けた取り組みを行う。

II 事業計画

【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	予算額	59,534 千円
---	--------------	-----	-----------

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援する。

2	プラズマ技術産業応用支援事業	予算額	59,228 千円
---	----------------	-----	-----------

プラズマ技術産業応用センターにおいて、プラズマ技術の産業応用に
関心のある企業・機関で組織した研究会「プラズマが拓くものづくり研
究会（PLAM）」の会員に対して、技術相談やテスト処理・分析（機
器トライアル、可能性トライアル）を通じてプラズマに係る技術支援を
行うとともに、名古屋市工業研究所始め地域の研究機関と連携して地域
企業の産業振興に取り組む。

また、最新のプラズマ技術及び産業応用事例をテーマにした講演会や
情報交換会等を開催してプラズマ技術全般に関する情報提供を行う。

3	共同研究受託事業	予算額	59,224 千円
---	----------	-----	-----------

大学、公的研究機関、中小企業等と連携しつつ、経済産業省の委託事
業である戦略的基盤技術高度化支援事業を始めとする国等の提案公募
型研究開発事業の運営管理を行うなど研究成果の実用化・事業化を推進
する。

4	研究開発促進事業	予算額	4,814 千円
---	----------	-----	----------

「環境・エネルギー課題解決産業」などの重点産業分野に係る先端技
術について、技術情報の交換や課題解決を目的とした研究会を開催・運
営し、産学行政連携による共同研究の実現、実用化・事業化をコーディ
ネートするほか、なごやサイエンスパークに立地する研究機関相互の交
流を図り、研究開発を促進する。

5	新事業創出支援事業	予算額	161,945 千円
---	-----------	-----	------------

(1) 相談・研修事業

中小企業経営、創業・新事業のほか、自然災害などの緊急事態における継続的な事業活動について予め定めるBCPの策定を支援するため、専門資格を有する民間の人材を活用し、窓口相談、企業訪問によるアドバイスをを行う。あわせて小規模企業者の経営改善、新事業への取り組みに対する支援を行う。

また、創業支援セミナーを実施することにより、創業に役立つ知識を提供するとともに、創業に向けた意識・意欲の向上を図る。

(2) ビジネスマッチング事業

新事業に取り組む個人や企業の発掘や事業化のための相談や支援を行うほか、見本市・展示会への出展支援等を行うことにより、ビジネスパートナーとのマッチングを支援する。

(3) インキュベート施設の入居企業への総合的な支援

都市型工業団地（nabi/金山、nabi/白金）、名古屋医工連携インキュベータ、サイエンス交流プラザインキュベータルームの入居企業に対し、インキュベーションマネージャー及び経営・技術等の各専門分野のマネージャー間で連携を図りつつ、総合的な創業・新事業支援や販路拡大支援を行う。

6	普及啓発・情報提供事業	予算額	146,018 千円
---	-------------	-----	------------

市民の科学技術に対する理解と関心を深めるため、研究施設の公開、研究内容や成果の紹介等を行うほか、ファッション情報の収集・提供、コンテスト、セミナー等によりファッション産業の振興とファッション風土づくりの推進を図る。

また、異業種交流による技術、市場に関する情報交換を図るとともに、産業技術に関する図書、雑誌等を提供する。

7	産業人材育成事業	予算額	31,537 千円
---	----------	-----	-----------

工業技術に関する教育訓練、研修、講座等を開催することにより、従業員の技術及び技能の向上を図り、中小企業におけるものづくり人材の育成、技術・技能の継承を積極的に支援する。

8	工業技術情報提供事業	予算額	13,502 千円
---	------------	-----	-----------

中小企業における工業技術力の向上を図るため、工業技術に関する指導及び相談を行うとともに、講演会、先進工場見学会の開催、情報誌の発行等により、工業技術に関する情報提供を行う。

9	経済交流・誘致促進事業	予算額	7,796 千円
---	-------------	-----	----------

(1) 見本市・展示会の開催・誘致

第 16 回国際福祉健康産業展「ウェルフェア 2013」、防災・減災・危機管理展「中部ライフガード TEC 2013」及び第 3 回次世代ものづくり基盤技術産業展「TECH Biz EXPO 2013」を関係団体と共同で開催するとともに、共催や後援、出展による参加など様々な手法で、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業見本市の誘致に積極的に取り組む。

(2) 企業誘致促進事業

名古屋市を始めとする関係機関と連携し、当地域への進出を希望する外資系企業をサポートするため、企業進出の際に必要な様々な情報の提供や専門家の紹介等を行うことにより、外資系企業の誘致を促進するほか、新規の進出有望企業の発掘のため、国際見本市や展示会等の出展参加企業を訪問し、当地域へ誘致を図る。

10	関係団体事務受託事業	予算額	3,370 千円
----	------------	-----	----------

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行う。

11	管理運営を行う産業振興施設	予算額	1,153,218 千円
	(1) 名古屋市中企業振興会館		
	(2) 名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）		
	(3) デザインホール		
	(4) 都市型工業団地（nabi/金山、nabi/白金）		
	(5) サイエンス交流プラザ		

【収益事業等の実施】

1	施設管理附帯事業	予算額	52,883 千円
	名古屋市中企業振興会館及び名古屋市国際展示場の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務や自動販売機の維持管理を行うほか、両館で開催されるイベント案内を掲載したイベントカレンダーの印刷を行う。		